一般社団法人教育文化振興実践桜会
福島県支部

２５年のあゆみ

目　　次

校歌

Ⅰ　「２５年のあゆみ」によせて
一般社団法人教育文化振興実践桜会理事長　鈴　掛　まゆみ　……1
実践女子学園理事長　井　原　　徹　……2
実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長　城　島　栄一郎　……2

Ⅱ　「２５年のあゆみ」によせて
郡山
（2017~2019）支部長　本　多　節　子　……3
（2008~2010）支部長　岡　部　治　子　……4
福島
（2011~2013）支部長　大　内　友　子　……4
会津
（2014~2016）支部長　山　田　厚　子　……5

◇　福島県の地域性を尊重しての５地区の事務局
（１）　……6
（２）　……6
（３）　……6
（４）　……7

２５年のあゆみ年表　……8

支部だより２０１７（「なよたけ」情報版№２３より）　……21

一般社団法人教育文化振興実践桜会
福島県支部規約　……23

編集後記　……25

常盤の松に　聚家

ゆくしらくもの

ひらくを数の

天う発くゝの　よる橋

情あひゝ

生むゝ八号の

みちゝるも

Ⅰ　「２５年のあゆみ」によせて

寄稿

一般社団法人教育文化振興
実践桜会　　理事長　鈴　掛　まゆみ

実践女子学園　理事長　井　原　　徹

実践女子大学・実践女子短期大学部
学　長　城　島　栄一郎

実践桜会福島県支部２５年のあゆみに寄せて

一般社団法人教育文化振興実践桜会　理事長
鈴　掛　まゆみ

実践桜会福島県支部25周年を迎えたこと、大変うれしく心よりお慶び申し上げます。

毎年、桜会本部理事長にご案内をいただき総会に出席してきました。支部長を中心に福島県にゆかりのある〝講演会〟を計画し、有意義な総会になっていることはすばらしいことです。この25年の間には2011年のあの東日本大震災で福島県支部会員の中にも被害にあわれた方もありましたことは記憶に新しいことです。奇しくもその年の９月の地区懇談会は福島市開催の予定でしたが会場を郡山市に変更し、滞りなく開催の運びとなりました。以後も活発な支部活動を続けていることは、まさに、〝同窓生の絆〟あってのことと思います。福島県支部の益々のご発展とさらなるご活躍を祈念いたしております。

実践桜会福島県支部２５年のあゆみ

実践女子学園　理事長
井　原　　徹

実践女子大学さん、あなたは何者ですか？あるいは実践女子大学ってどんな大学ですかと聞かれたら、どう答えますか。

私は胸を張って「あの明治という男尊女卑が強かった時代に、女性の自立自営を唱え、女性を応援支援した下田歌子が創った大学です。」と答える。

今まさに国を挙げて「男女共同参画社会の実現」に取り組んでいる。下田先生は遙か昔にそのことを主張していた。女性よ頑張れ、と唱えていた。いま実践女子学園を預かっている私たちは、学生・教職員全員で下田先生のDNAを引き継いで、男女共同参画社会の推進に取り組んでいる。

大学の基本構成員は「学生」「教職員」そして、「卒業生」である。どれが欠けても大学は成り立たない。桜会の皆様がお持ちの卒業証書が、もっともっと輝くよう、私たちは全力を尽くしている。皆様のご支援をお願いしたい。

福島県支部「２５年のあゆみ」発刊に寄せて

実践女子大学・実践女子大学短期大学部 学長
城　島　栄一郎

実践桜会福島県支部「25年あゆみ」発刊おめでとうございます。

先の東日本大震災・原発事故により多大な辛酸をなめられた皆様が一致団結して支部総会を開催し、記念誌を発刊されることに対し敬意を表します。

私立の学園が社会で存続していく意義は、建学の精神が大学・学園で引き継がれ、その教育を受けたものが社会に必要とされ貢献していくことです。卒業生の各人が先輩の生き方を手本として学び敬い、また自分が後輩の手本となるように努力し磨き、暖かく後輩を育て、その後輩が同じように後を受け継ぐ…という連鎖が伝統の力であります。

実践桜会は全国に支部を持ち、支部の先輩・後輩がお互いに信頼し、母校のことを大切に思われていることを学長としてひしひしと感じます。このことが伝統を創り出していく原動力であると思います。

最後に、福島県支部のますますのご発展を祈念いたしますとともに、同窓会会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

Ⅱ 「２５年のあゆみ」によせて　　郡山・福島・会津

「25年のあゆみ」を見つめて

郡山（2017~2019）支部長　本　多　節　子

同窓会本部から篠田俊子理事長と藤田京子理事にご出席をいただき、1994年7月31日に第一回の福島県支部総会が郡山市で開催されました。第一回の総会要項には支部結成について、渡辺きみえ初代支部長から「学園関係者、同窓会本部、福島県内の同窓生の長年の希望」であったことが紹介されています。規約により郡山・福島・会津・いわき・相双の5地区で支部運営を担うことを目標とするものの、各地区の事情も考慮することとして、本年（2018年）まで第25回の支部総会を開催することができました。支部の歴史として、丁度４分の１世紀を重ねることができたのです。このことは、本支部設立の際の皆様の情熱が脈々と伝えられた成果と存じます。振り返ってみますと、2011年の総会は東日本大震災の未曾有の災害のため、開催を断念することとなりましたが、2012、2013年は当時の大内友子支部長をはじめ、福島地区の役員の皆様、全県下の会員の皆様のご支援によって支部活動を継続することができました。支部の活動を継続することで、会員同士で「学び合うこと」、「親睦を深めること」の意義がいっそう鮮明となりました。この「学び合うこと」、「親睦を深めること」を目的として、郡山地区では3年間、朝河貫一研究会理事の山内晴子先生に「朝河貫一博士について」のご講演をお願いし、今、必要とされる世界観への理解を会員の皆様と深めたいと考えております。

さて、この機会に、郡山地区で支部長を務められた皆様の業績をお伝えしたいと思います。1994年に支部長を務められた渡辺きみえ先生は、支部規約の立案、総会の企画・運営にご尽力くださいました。1995~1996年に支部長を務められた橋本京子先生は郡山地区ばかりではなく全県下の支部活動にご配慮くださり、会員の勧誘に努められました。1997~1998年に支部長を務められた岡部道子先生は積極的に他地区開催の総会に出席され、本支部の広報に努められました。歴代の支部長のご活躍は、下田歌子先生の教育理念とされる「『女性が社会を変える、世界を変える』という気概をもち、『品格高雅にして自立自営し得る女性』」（「なよたけ」・79号・実践女子学園の創立）を彷彿させるものでございました。

こうして、本年、「25年のあゆみ」を編纂することができましたのは、諸先輩、会員の皆様のご支援の賜物です。本誌をご高覧いただき、折にふれて支部活動の歴史を懐かしんでいただけたらと存じます。

私の学生時代

郡山（2008~2010）支部長　岡　部　治　子

私の父は中央大学と上智大学を卒業した父ですが、いつも母校を大事にしなさい。…と言っておりました。

母は喜多方から郡山へ嫁いで来たのです。実践女子大家政学部技芸科で学んだのですが、戦争がひどくなって来た、…との事で卒業式を早めに繰り上げさせられたのよ!!残念そうに言っておりました。父は中央大学の評議員をさせて頂いておりましたが、とても母校を大事にしておりました。

私の大学時代は昭和38年～昭和41年度（昭和42年3月卒業）迄。当時は新幹線が走っていなかったので私は毎回準急列車で４時間半かかって上京しておりました。列車に乗っていての楽しみは、駅まで見送りに来てくれた父が（安積）ごんさい豆を買ってくれて、ごんさい豆を食べながら、まんがや本を読んで上京していた事でした。今から考えれば、当時の半分以下、１時間半で東京へ行くことが出来るので、日本の新幹線は何と速く、便利になったので、その技術は本当に素晴らしいなー…。と改めて時の流れの早さと学生時代を懐かしく思い出しているこの頃です。

３年間の思い出

福島（2011~2013）支部長　大　内　友　子

実践桜会にかかわって数年が経ち、軽い気持ちで副支部長を引き受けた矢先に、東日本大震災の年に遭遇し、もちろんその年はやむ無く休会とさせて頂きました。その上支部長さんが県外に避難され、私が代役という形になり、数人の会員の方達に助けられてその後２年間は福島で開く事ができました。なにしろ震災で世の中が落ち着かない上に原発で福島地区は放射能の濃度が高かったのが災いしてる中の開催で思うように人を集める事ができず、心残りの３年間でした。

福島地区には卒業生はたくさんいるはずなのですが、実践桜会にかかわって下さる方がほとんどなく、会員におさそいすることをもっと考えなくてはと苦慮しているところでございます。

会津地区の活動から思うこと

会津（2014~2016）支部長　山　田　厚　子

1994年実践桜会福島県支部発足の年、私は４年間苦楽を共にした郡山地区の渡辺寿美子様からのお誘いを受け入会いたしました。

その後も先輩でいらっしゃる中村澄子先生との出合いがあり会津担当の平成14年から16年は先生を支部長に、私は名ばかりの役員として３年間後ろ姿を拝見しながら色々な事を学ばさせて頂きました。先生が私の母と女学校時代同じ校舎で学ばれたことを知ったのは10年後、私が支部長を受け継ぎました平成26年の事でした。

会津地区担当の３年間は特に新入会員の入会に力をそそぎ、平成生まれの若い方の入会を得ましたことは大きな喜びでした。

又役員会ではいつも穏やかに笑顔を絶やさず、戦時中学生生活を送られた中村先生のご苦労話や下田歌子先生のお話等お聞きするのが楽しみでした。

セルリアンタワーホテル東急ボールルームでの本部総会では、鈴掛理事長、松田被服科会長にはいつも暖かいお言葉をかけて頂き、娘の結婚披露宴会場ということも重なり、年に一度の総会はそれは待ち遠しいものでした。

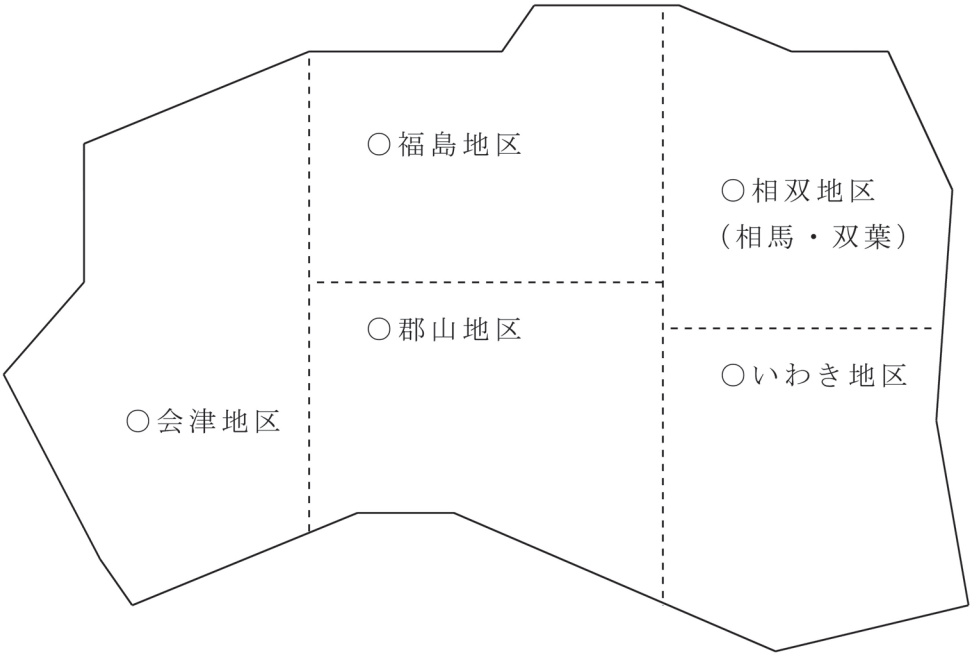
昨年は理事長に初めて会津地区での本県の総会へお越し頂き、本年引き続き郡山地区での総会へご出席頂き盛大な総会となりました。

私は入学当初から、実践女子大学へ入学出来ましたことを誇りに思って学生生活を過ごしましたが母校愛が芽生えたのは桜会へ入会して以降の事だった様に思います。

下田先生の教えを受け継ぎ、素晴らしい女性達が先陣を拓いていかれたこと、そんなお仲間と時間を共有し言葉を交わし、同じ目的に向かって行動出来る幸福感を次世代の後輩の方々に味わって頂きたく、まだ入会されていない方々、先輩方と肩を並べて語り合おうではありませんか。

◇　福島県の地域性を尊重しての５地区の事務局

（1）５地区とは、郡山・福島・会津・いわき・相双〈相馬・双葉〉をいう。



（2）なぜ、５地区を事務局とするのか。

本支部の活動を活性化するために、事務局を上記の５地区で担当する事としたのは、1999年からのことでした。支部役員をはじめとして総会に出席した会員が、それぞれの地域の伝統と歴史を尊重したいと考えたことが理由にありました。また、それぞれの地区に居住する会員の便宜を図ってのことでもありました。ただし、事務局の担当は、各地区の事情も考慮することとなりました。その事情とは、相双〈相馬・双葉〉地区は、居住する同窓生が少なく事務局担当が困難なこと、いわき地区は、2011年の東日本大震災の被害の影響がまだ大きく、現状では事務局担当が困難であることです。

（3）なぜ、福島支部ではなく、福島県支部とするのか。

事務局は目標として５地区での輪番制となりましたので、福島地区だけの担当でないことを明確にするため、福島県支部と「県」を明示しての支部名となりました。

（4）事務局のローテーション

担当年	1994 ～ 1998	1999 ～ 2001	2002 ～ 2004	2005 ～ 2007
地区名	郡山	福島	会津	いわき
支部長名	1994 渡辺きみえ 1995~1996 橋本　京子 1997~1998 岡部　道子	1999~2001 佐藤　貞子	2002~2004 中村　澄子	2005~2007 山田　英子

担当年	2008 ～ 2010	2011 ～ 2013	2014 ～ 2016	2017 ～ 2019
地区名	郡山	福島	会津	郡山
支部長名	2008~2010 岡部　治子	2011~2013 大内　友子	2014~2016 山田　厚子	2017~2019 本多　節子

☆2011年は、東日本大震災のため、規約「第８条（会議）前年度会費納入者の５分の１以上の出席をもって総会成立とする。」に該当しなかったため、総会は開催しない。

一般社団法人教育文化振興実践桜会福島県支部

２５年のあゆみ年表

◇各総会の議事　　第１号議案　事業報告
　　第２号議案　決算報告
　　第３号議案　事業計画
　　第４号議案　予算案　については特に記載しない。

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
1	平成６ 1994.7.31（日）	郡山 渡辺きみえ	創設の準備 ２月６日１創設について ２規約について ３総会開催日について 本部より藤田京子様出席 ---------- ５月６日平成６年度通常総会 事務局より塙弥栄子出席 創設の進捗状況を報告 ---------- 総会 １役員の選出について ２規約について 第１条（名称）から第10条（改訂と施行）までを定める。 など ◇設立本総会には本部より、篠田俊子理事長・藤田京子理事がご出席、会員は27名が出席 ○親睦パーティ	郡山ビューホテルアネックス
2	平成７ 1995.7.30（日）	郡山 橋本京子	総会 １役員の一部改選について ２バザー協力について ３総会の開催地・開催日について など ○アトラクション サキソフォン演奏　渡辺健司	郡山ビューホテルアネックス
3	平成８ 1996.6.8（土）	郡山 橋本京子	総会 １役員の改選について ２規約の一部改正について （第５条　総務２名を補う。） ３バザー協力について ４総会の開催地・開催日について など ○アトラクション ギター演奏　渡辺隆	ホテル はまつ

第１回総会　1994. 7. 31　於 郡山ビューホテルアネックス

第５回総会　1998. 5. 31　於 郡山ビューホテルアネックス

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
4	平成９ 1997.6.28（土）	郡山 岡部道子	総会 １地区父母懇談会について ２バザー協力について ３第５回総会の開催地・開催日について など ○アトラクション 歌曲独唱 声楽　　常盤啓子 ピアノ　林万里子	郡山ビューホテルアネックス
5	平成10 1998.5.31（日）	郡山 岡部道子	総会 １100周年記念事業の協力（バザー協力について） ２役員改選について ３第６回総会の開催地・開催日について など ○アトラクション ハープ演奏　佐藤厚子	郡山ビューホテルアネックス
			文化講演会 11月７日（金） 11月14日（金） 講師 福島大学教授（美術理論・美術史）磯崎康彦 テーマ…ヨーロッパの美術 ７日ドイツ　14日オランダ	福島県立安積開成高等学校須賀川校舎

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
6	平成 11 1999.5.30（日）	福島 佐藤貞子	総会 １規約改正について 改正事項 第１条　条文…実践桜会福島県支部 第２条　見出し（事務局）と条文…事務局 第３条　条文…実践桜会 第５条　条文…次の、3カ年 第６条　条文…総務は会の庶務を担当する。の条文を補う。 第８条　条文…開催日は5月の最終日曜日とする。（但し、事情により変更もありうることを確認） 前年度会費納入者の五分の一以上の出席をもって総会成立とする。 事業年度は、4月1日より次年度3月31日までとする。 ２今後の会の運営について など 〇講話 講師　大井三代子氏 テーマ「女性の力」	ホテル 辰巳屋
			秋の研修会（1999.10.18） ー下田歌子歌碑見学と講話ー 講師　大井三代子氏 講話　歌集「皇国ぶり」について	ホテルサンルートプラザ 福島市渡利 仏眼寺
7	平成 12 2000.5.28（日）	福島 佐藤貞子	総会 １支部からの通知の送付について ◇通知の送付先 支部結成からその年度まで会費を納入された方 ◇送付担当者 各地区役員が分担して行う。 ※ただし、相双・いわきに関しては、役員が決まるまで会の庶務が担当する。 ２今後の支部運営について ◇第8回支部総会担当（福島） ◇第9回支部総会担当（会津） ◇会費決算報告（福島） 2001年4月1日～ 2002年3月31日分 など 〇アトラクション ハープ弾き語りとヴァイオリンとヴィオラの演奏 ハープ　長谷川朝子 ヴァイオリン　長谷川千鶴 ヴィオラ　長谷川弘樹	ホテル 辰巳屋
			9月3日 マレーシアの文化と料理	市民会館

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
8	平成 13 2001.5.27（日）	福島 佐藤貞子	総会 １規約の改正について 第10条（慶弔）条文を補う。 ※本年度から規約は第11条までとなる。 ２支部からの通知の送付について ◇通知の送付先 支部結成からその年度まで会費を納入された方 担当支部名簿登載者（事務局の判断で） ◇送付担当者 各地区役員が分担して行う。 ※ただし、相双・いわきに関しては、役員が決まるまで会の庶務が担当する。 ２今後の支部運営について ◇第8回（本会）支部総会担当（福島） ◇第9回支部総会担当（会津） ◇会費決算報告（福島） 2001年4月1日～ 2002年3月31日分 ◇新年度計画・予算（会津）　2002年4月1日～ 2003年3月31日◇バザーの寄付金について 10,000円（支部予算から出費））＋会員からの寄付を送る。 など ○講話 講師　花園町修道院長 遠藤静子氏 テーマ「共同生活を生きて」	ホテル 辰巳屋

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
9	平成 14 2002.6.30（日）	会津 中村澄子	総会 １役員の改選について ２第１回案内…実践女子大学・実践女子短期大学公開市民講座と地区懇談会について（平成15年８月23日　於福島市開催予定） 演題　「歌は世につれ世は歌につれ」 講師　小林亜星について など ○お薬園（旧松平藩庭園）観覧	料理旅館 田事
10	平成 15 2003.6.29（日）	会津 中村澄子	総会 １規約の一部改正について 第８条　条文…開催日は５月の最終日曜日とする。（但し、事情により変更もありうる）を削除 次年度を翌年に変更 ２第２回案内…実践女子大学・実践女子短期大学公開市民講座と地区懇談会について（平成15年８月23日　於福島市開催予定） ３ビデオ鑑賞 「創設者　下田歌子先生の御生涯と実践女子学園」 など ○天鏡閣見学	京急 猪苗代リゾートホテル
11	平成 16 2004.6.27（日）	会津 中村澄子	総会 １ビデオ鑑賞 「創設者　下田歌子先生の御生涯と実践女子学園」 など ○講演 田口惠子氏 演題　俳諧師芭蕉と「おくのほそ道」	裏磐梯高原 ホテル

第９回総会　2002. 6. 30　料理旅館「田事」にて

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
12	平成 17 2005.6.26（日）	いわき 山田英子	総会 １規約の改正について 第10条（慶弔）条文を削除する。 ※本年度から規約は第10条までとなる。 など ○ミニコンサート 箏が奏でる 桜井こずえ氏	いわきワシントンホテル
13	平成 18 2006.6.25（日）	いわき 山田英子	総会 １実践桜会東北支部長会 など ○ミニコンサート ピアノ演奏 田村　愛氏	いわきワシントンホテル
14	平成 19 2007.6.24（日）	いわき 山田英子	総会 １実践桜会東北支部長会 など ○講演会 「母校の現状と同窓会活動」 実践桜会理事長 若松幸子先生	いわきワシントンホテル

第14回総会　2007. 6. 24　於 いわきワシントンホテル椿山荘

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
15	平成 20 2008.6.29（日）	郡山 岡部治子	総会 １規約改正について 第10条（慶弔）条文を補う。 ※本年度から規約は第11条までとなる。 ２来年度以降の総会の通知について ３来年度以降の支部運営について など ○久米正雄記念館見学	辰柳
16	平成 21 2009.8.23（日）	郡山 岡部治子	総会 １規約一部改正について 第８条　条文…原則として開催日は６月の最終日曜日とする。但し、都合により変更することもある。 以上の条文を補う。 ２来年度以降の総会の通知について ３来年度以降の支部運営について ４来年度のみちのく会の事務局（郡山）の企画・運営について ◇みちのく会 平成17年7月23日（土）宮城県仙台市で設立。実践桜会東北6県支部長会議を発展的に扱い、「みちのく会」とする。本部を仙台市に置く。今まで各支部ごとに行っていたイベントを6支部合同にすることで、参加者数を増やし、東北6県の親睦を図るという目的のために設立された。毎年の会の会の企画・運営は東北６県での輪番制とする。 次年度は福島県が事務局となる。 ○講話 テーマ「母校の現状について」 講師　理事長鍜島康子先生	辰柳

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
17	平成 22 2010.6.27（日）	郡山 岡部治子	総会 １みちのく会について ２事務引き継ぎについて など	辰柳
			みちのく会　2010.10.16（土） 参加者18名　内訳（宮城3、青森2、岩手1、山形3、福島9） １各県支部長から活動報告 報告順　宮城→山形→青森→岩手→福島 ○各県支部長の活動報告には、総会の参加者をどのようにして増加させるかという共通のテーマがありました。同窓会の未来を東北各県からの参加者で考える貴重な会となりました。 ◇五色沼散策、天鏡閣見学、野口英世記念館見学を行う。 ○東北各県の同窓生の思いと須賀川市郊外のバラ園のバラがお土産となりました。	裏磐梯高原ホテル

みちのく会　2010.10.16　天鏡閣前にて

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
18 東日本大震災	平成 23 2011 年 出席予定者が総会成立の定数に達せず中止 （規約第 8 条による）	福島 大内友子	◇年会費の徴収はしない。 （総会の開催中止は、規約第8条会議による。） ※2011.11.24 元支部長岡部道子様ご逝去 （帽子をかぶられた遺影の後にご生家〈喜多方吉の川酒造〉）の景色、飯豊山に雪をいただいた風景が白い花とガーベラ、チューリップで飾られていました。）	
19	平成 24 2012.6.24（日）	福島 大内友子	総会 〇香を聞く会 講師 高橋霞峰先生 参加者　福島地区　4名 いわき地区　1名	ホテル 辰巳屋
20	平成 25 2013.6.30（日）	福島 大内友子	総会 〇フラワーアレンジメント 講師 栗城典子先生 参加者　福島地区　5名 会津地区　2名 郡山地区　1名 いわき地区　1名	ホテル 辰巳屋

先の見えない放射能汚染に心を痛める毎日

福島県支部 大内友子　（昭 45 大被卒）

地鳴りがして、家が揺れ始まった時、家には義母と生まれて八ヵ月の孫と３人。３月 11 日のその日、薪ストーブが赤々と炎を上げ燃えているのを尻目に見ながら、赤ん坊を抱き抱えて玄関を出たり入ったりしていると、前の家の屋根瓦が雪崩のように目の前に落ち、粉々に砕け散りました。幸い怪我はなく、出先にいた家族が次々に家に戻り無事を確認しあいました。そして、停電、断水と数日間の不自由な生活が待っていました。

ところが、ラジオのニュースを耳にした時、その被害が想像を絶するものだという事がわかり、身震いする思いにかられました。

そして福島は原発災害も加わり、世界のフクシマになってしまいました。

目に見えない、そして、先の見えない放射能汚染に心を痛めている毎日です。

震災直後、全国各地の同窓生から「何か必要なものはないの？」「いつでもおいで」と声をかけて頂いた時は、涙が溢れました。

皆様のお心配り、お見舞に感謝申し上げます。

「なよたけ」情報版　No.17　2011.10.1

福島県支部 大内友子
（昭和 45 年　被大卒）

２年ぶりの総会にいわき市の会員も

去る６月 24 日、福島市ホテル辰巳屋において、平成 24 年度の支部総会を開催いたしました。

昨年度は、東日本大震災後の影響により、取り止めにいたしましたので、2 年ぶりの開催となりました。

出席者は５名でしたが、いわき市在住の会員も参加してくださいました。総会終了後に、「香を聞く会」を催し、雅なひとときを過ごしました。来年度は、出席者が増えることを願っています。

「なよたけ」情報版　No.18　2012.10.1

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
21	平成 26 2014.7.6（日）	会津 山田厚子	総会 １支部役員について ２仙台みちのく会開催のお知らせ など ◯仕舞 高橋孝子氏 ◯鶴ヶ城見学	萬花楼
22	平成 27 2015.6.28（日）	会津 山田厚子	総会 １支部役員について など ◯ハワイアン　フラダンス	古民家 レストラン 独鈷
23	平成 28 2016.6.26（日）	会津 山田厚子	◯講演会 演題 俳諧師芭蕉と「おくのほそ道」 講師　田口惠子氏	会津稽古堂
			総会 １支部役員について など	田季野

平成26年度　福島県支部総会を開きました

平成２６年７月６日（日）会津若松市「萬花楼」において

星　直子様　馬目敏子様
髙橋ますみ様　田口惠子様
高橋孝子様
増田あさ子様　中村澄子様
岡部治子様
城戸栄子様　山田厚子
平野淳子様　越智美智子

お食事の前に

詩舞を舞われた高橋孝子様が嫁がれた高橋家は会津藩士だったそうです。会津文化の伝承に使命を感じていらっしゃる様子がひしひしと感じられました。感動しました。

お城の天守閣に登ってきました。
「お殿様になったみたいでした」
と馬目様がおっしゃっていました。短時間でしたが・・・

晴天に恵まれて・・・

若松城をなぜ別名「鶴ヶ城」というか知っていますか？
蒲生氏郷公の幼名が鶴千代だったからです。

うわお

来年も楽しく実践桜会の窓に花を咲かせましょう！！

平成 27 年度　福島県支部総会を開きました

平成 27 年 6 月 28 日（日）会津若松市古民家レストラン「独鈷」において

越智美智子
中山舞美様
平野淳子
宮本みゆき様
髙橋ますみ
星　直子
藤田美智子様
増田あさ子様
福井久美子様
渡辺寿美子様
大内友子様
渡辺栄子様
中村澄子
山田厚子

お食事は

箸包の文字に「食は力・食は未来・食は愛」と書いてありました。収穫する土にまでこだわったお料理は手がこんでいて、作り手の愛情が感じられました。

私たちはそれを命に変えました。まさに食は命の源であると感じました。

会員によりフラダンス披露させていただきました。踊っている本人たちは満足でしたが、ご覧になっている皆様方はいかがでしたでしょうか？
腰痛防止！！二の腕のたるみ防止！！ですわよ～
是非どうぞ　お試しあれ！！

平成二八年 6 月 26 日（日）の田口恵子様のご講演を予定しています。ふるって御参加下さい！

回	総会開催日 年号・西暦	事務局 支部長名	活動内容	総会会場
24	平成 29 2017.6.24（土）	郡山 本多節子	総会 １役員の改選について ２記念誌「25年のあゆみ」の編集計画について など ○講演会 講師　朝河貫一研究会理事 山内晴子先生 演題「今、朝河貫一博士の生涯と業績から何を学ぶか」	花の祥
25	平成 30 2018.6.30（土）	郡山 本多節子	総会（予定） １規約について ２記念誌「25年のあゆみ」について など ○講演会 講師　朝河貫一研究会理事 山内晴子先生	花の祥
26	新年号 2019.6.29（土）	郡山 本多節子	総会（予定） １次年度の事務局について など ○講演会 講師　朝河貫一研究会理事 山内晴子先生	花の祥

福島県支部

本 多 節 子（昭和51年院国卒）

鈴掛まゆみ理事長と広報担当の大和惠子常任理事、竹内節子理事のご出席をいただき、平成29年度福島県支部の総会と講演会（一般市民も聴講）を6月24日（土）に郡山市で開催いたしました。

総会では、特に規約について、出席者から積極的な発言があり、来年度に向けての建設的な総会となりました。

会食後の講演会では、朝河貫一研究会理事の山内晴子学術博士に、「今、朝河貫一博士の生涯と業績から何を学ぶか」の演題で講演をしていただき、学生時代に戻ったような雰囲気で共通の時間を持つことができました。福島県出身の朝河博士は、日本人として初めてイェール大学の歴史学の正教授となった人物です。明治28年に学祖下田歌子先生はアメリカで教育視察をなさいましたが、同年に21歳の朝河博士もダートマス大学進学のため、アメリカに渡航しています。また、明治40年に、下田先生は、朝河博士に封書を送っています。下田先生と朝河博士の知的理念に基づいた世界観は共通する部分が多く、よい学びの機会となりました。

本支部では、現在、支部創設「25年のあゆみ」の編集を進めております。来年度の6月上旬完成予定です。（「なよたけ」情報版　2017.10.1 №23）

地域交流レポート

6月24日（土）福島県郡山市で行われた福島県支部総会に鈴掛まゆみ理事長と、広報部の2名が伺いました。

総会出席者

- 馬目　敏子（いわき　昭和34年／短生卒）
- 越智　美智子（会津　昭和53年／大食卒）
- 平野　淳子（会津　昭和57年／短栄卒）
- 大内　友子（福島　昭和45年／大被卒）
- 岡部　治子（郡山　昭和42年／大国卒）
- 本多　節子（郡山　昭和51年／院国卒）
- 渡辺　寿美子（郡山　昭和49年／大被卒）
- 増田　あさ子（福島　昭和50年／大被卒）
- 水野　徳子（郡山　昭和53年／大被卒）
- 梁取　由紀（郡山　昭和47年／大被卒）
- 福井　久美子（郡山　昭和46年／大被卒）
- 宮本　みゆき（郡山　昭和61年／大食卒）
- 加藤　睦子（郡山　昭和56年／大被卒）
- 飛澤　暁美（郡山　平成2年／大国卒）
- 渋谷　久美子（郡山　昭和52年／大国卒）

まず、福島県支部についてご紹介させて頂きます。

■支部創設

福島県には卒業生が多くいるにも関わらず支部のないことを残念に思っておられた方々のご努力によって、1994年に福島県支部は創設されました。第一回総会には27名の会員が参加され、翌第二回総会には31名のご参加で、特に戦中・戦後の困難な時代に実践で学ばれた方々が熱心に出席されました。晩年の下田歌子先生が病と闘いながらも凛とした優雅なご様子で源氏物語の御講義をされたこと、物のない時代に故郷から送られた貴重なお米を寮で「今日は私の洗面器で、明日はあなたの洗面器でと、ご飯を煮たのよね。」といった貴重なお話を伺う機会を得られたそうです。

■地域性の尊重

福島県は面積の広さが全国2位の大きな県です。そこで支部を会津・福島・郡山・相双・いわきの5つの地区にわけ、各々の地区の伝統と歴史を尊重しつつ支部活動を活性化しようと考えました。事務局は1999年からは5地区で担当する事になり1994年から5年間を郡山が、その後は3年毎に福島・会津・いわき・郡山・福島・会津・2017年から郡山と持ち回りで運営されています。しかしながら、2011年には東日本大震災のため総会は開かれませんでした。加えて、相双地区は同窓生が他の地区に比較して少ないことから事務局にはなっておらず、また、いわき地区は東日本大震災の影響が甚大であり、当分の間、事務局にはなれないとの事情が生じております。

■支部活動

事務局担当の地区の皆様は、様々な工夫をこらして支部活動を広げてこられました。

【郡山】　創立時の事務局として役員・規約・事業計画といった支部組織の土台を創られました。加えて、東北六県の桜会支部の皆様の集まりである「みちのく会」の事務局も2010年に担いました。文化活動にも熱心で、「ヨーロッパの美術」をテーマに福島大学磯崎康彦教授の2回の講演。今年からは3年にわたり福島県立安積高等学校出身で日本人初のイェール大学教授「朝河貫一博士」について、山内晴子氏による連続講義を企画されています。

【福島】　1999年に規約改正に取り組み完成度の高い規約を構築。また、「下田歌子歌碑見学と講話」「マレーシアの文化と料理の講習会」を開催されました。

【会津】　「お薬園」「天鏡閣」の見学や同窓生田口惠子氏による「松尾芭蕉と『奥の細道』」の講演会を2度にわたり催されました。

【いわき】　総会時にミニコンサートを開催し多くの会員が参加されました。

■総会

会場の「花の祥」にて、支部長の本多節子さんをはじめとして会員の皆様15名により開かれました。前述の5地区の抱える問題が取り上げられ、中でも、いわき地区の馬目敏子さんより、「地区の会員の皆様がご高齢になられ、加えて震災後の避難や移転といった状況が重なり、今後の地区としての支部活動に深刻な不安を感じている」とのお話がありました。新しい会員を増やすことの難しさは、いずれの支部も共通の悩みではありますが、馬目さんのお話は震災の爪痕が如何に多くの難題を引き起こしているかを思い知らされるものでした。それに対して、事務局の方々が問題解決の方法を真摯に考えて行くので来年の総会まで時間を下さいと答えておられ、皆様も賛同されました。

総会を通じて、福島県支部の抱える問題点を知ると共に、会

総会風景

馬目さん　増田さん　越智さん　本多さん　渡辺さん　平野さん　渋谷さん　大内さん

岡部さん　福井さん　加藤さん　宮本さん　梁取さん　水野さん　飛澤さん

員の皆様の熱意と真面目な活動姿勢、さらに粘り強く勤勉なありようにとても感銘をうけました。

■講演会

総会に続いて開催された山内晴子氏（朝河貫一研究会理事）による「今、朝河貫一博士の生涯と業績から何を学ぶか」の講演が、会員と共に一般の方を交えて行われました。

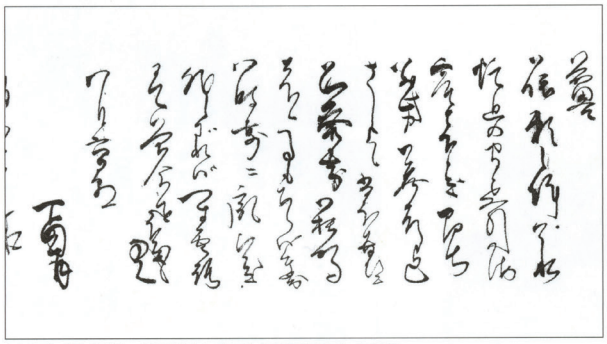
福島が誇る朝河貫一氏（イェール大学歴史学教授）が、日露戦争～第一次世界大戦～第二次世界大戦～戦後といった激動の時代に生き、民主主義の理念のもとアメリカの地において外交提言を続けた生涯を講演されました。また、下田歌子先生が朝河博士に書簡を送っているお話も伺え、当時の知識人の交流の一端を垣間見ました。その朝河博士の母校安積高校旧校舎本館(現安積歴史博物館）を皆さんで見学。歴史を偲ばせる木造二階建ての旧校舎本館はバルコニーのある優美な佇まいです。偶然にも郡山の高校4校の合同オーケストラと合唱の練習が行われており、若人の清々しい歌声と楽の音に至福の一時を頂きました。また、博士が英語を習得すべく暗記した英々辞書のページを破いては食べ、ついに、最後に残った表紙を桜の木の根元に埋めたという逸話のある桜の古木を仰ぎ見ることも出来ました。講師の山内先生もご一緒に見学され余話などをお聞かせ下さり、講演のお話が安積高校旧校舎本館と共に身近に思える時間でした。

総会に参加された福島県支部の皆様は、笑顔がとても優しく穏やかな方々です。お話を伺う中で、芯の強さと向学心を持ち続ける若さに触れて、お目にかかれた事を心からありがたく思いました。

朝河貫一博士

講演会風景

山内晴子先生



1907年8月6日付　朝河博士に宛てた下田歌子先生の書簡

安積高校旧校舎本館（現安積歴史博物館）

一般社団法人教育文化振興 実践桜会福島県支部規約

第１条（名称）

この会を一般社団法人教育文化振興実践桜会福島県支部と称する。

第２条（事務局）

この会の事務局を、支部長宅に置く。事務局は、原則として５ブロック（県南、県北、会津、いわき、相双）で持ち回りとし、3年ごとを基本とする。

第３条（目的）

この会は一般社団法人教育文化振興実践桜会定款により会員相互の親睦と人格の向上を図り、本部に協力して母校の発展に資することを目的とする。

第４条（会員）

この会の会員は実践女子学園卒業生で福島県内に居住又は勤務する者をもって組織する。

第５条（役員）

この会に次の役員を置き、総会において選出し、その任期は３カ年とする。但し再選を妨げない。

・支部長　１名　　・副支部長　４名　　・地区役員　若干名

・監　事　２名　　・会　　計　２名　　・総　　務　　２名

（ブロックにより人数を決める。）

第６条（役員の任務）

支部長は会を代表し会務を総理する。副支部長は支部長を補佐し、地区（ブロック）の総括責任者であり、支部長に事故ある場合は職務を代行する。地区役員は副支部長を補佐する。監事は会計の監査にあたり、意見を述べることができる。会計は支部長を補佐し、本会の会計全般を司る。総務は会の庶務を担当する。

第７条（顧問　名誉会長）

この会に、顧問並びに名誉会長を置くことができる。顧問並びに名誉会長は、総会においてその都度推薦する。年度途中の役員交代は総会において報告する。

第８条（会議）

この会の総会は毎年１回開催する。それは支部長が招集する。原則として開催日は６月の最終

日曜日とする。但し、都合により変更することもある。

前年度会費納入者の５分の１以上の出席をもって総会成立とする。

その他必要に応じ、臨時総会を開く。但し役員会が必要と認めたときは、いつでも招集することができる。

事業年度は、４月１日より翌年３月３１日までとする。

第９条（総会の決議事項）

一、事業計画および収支予算についての事項

二、事業報告および収支決算についての事項

三、その他役員会において必要と認めた事項

第10条（慶弔）

支部役員に慶弔に関する事由が生じた場合、対応する。

第11条（改訂と施行）

この会の規約は、総会の決議を経なければ改訂することができない。以上の規約は、桜同窓会福島県支部創立に当たり、平成６年７月３１日より施行する。

・平成　８年　６月　８日　改訂

・平成１１年　５月３０日　改訂

・平成１３年　５月２７日　改訂

・平成１５年　６月２９日　改訂

・平成１７年　６月２６日　改訂

・平成２０年　６月２９日　改訂

・平成２１年　６月２８日　改訂

編集後記（郡山）

会員の皆様のご賛同を得て「25年のあゆみ」を編纂することができました。

鈴掛まゆみ実践桜会理事長、井原　徹実践女子学園理事長、城島栄一郎実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長は、祝辞をお寄せくださいました。また、各地区の歴代の支部長には活動を振り返ってのご寄稿をいただき、各地区の活動の確認もしていただきました。

各年度の各地区の支部長をはじめ、各役員の皆様の活動が、記録として残されたままであるのは残念なことでした。こうして、「25年のあゆみ」を編纂し、皆様のお手元に届けることができたのは、支部創設が郡山であったことを思いますと幸いなことでございました。また、３カ年連続「朝河貫一博士について」のご講演を山内晴子先生にご依頼申し上げたことは、本年（2018年）が博士の没後70年にあたるため、記念事業が朝河貫一博士顕彰協会の主催で実施されますことを考えますと、時機を得た講演会であったと存じます。2017年には、山内晴子先生のご教示で、講演会の席上、学祖下田歌子先生から朝河博士への書簡が明らかになりました。

現在、母校では、同窓会本部の皆様、下田歌子研究所の皆様など学園をあげて学祖下田歌子先生の業績の研究に取り組んでいらっしゃいます。日々が学びであることを思い、学びを通じての会員の皆様とのまたの出合いを祈念して編集後記といたします。

編集責任者　本多　節子　岡部　治子
福井久美子　渡辺寿美子
加藤　睦子　宮本みゆき
飛澤　曉美

一般社団法人教育文化振興 実践桜会福島県支部
「25年のあゆみ」

平成30年（2018年）5月発行

編集　一般社団法人教育文化振興実践桜会福島県支部
2017~2019年事務局「郡山」

発行　一般社団法人教育文化振興実践桜会福島県支部
962-0831　須賀川市八幡町24-16